



市民創世会
大門 だいもん
嘉和 よしかず
議員

つつじバス再編について

問 つつじバス再編の基本コンセプトは。

答 循環線は、JR鯖江駅、福鉄神明駅の2つを起点とした、定刻発、等間隔運行を基本とし、土日祝日の便数拡充、各地区路線と循環線の乗り継ぎの利便性などに重点を置いた分かりやすい運行ダイヤを目指す。

問 河和田地区のちよいボラ交通は便利な代わりに料金が高く利用しにくい。一方、つつじバスは料金は安いが便数が少ない。また、迂回箇所が多く時間がかかり過ぎる。

ちよいボラ交通とつつじバスがうまくすみ分けるには区内はちよいボラ交通、市内までの移動はつつじバスとしてはいかがか。

ラポーゼかわだでの日帰り入浴と昼食を

目的とした観光客や市民には快速便は大変利用価値が高いはず。

答 河和田線は速達性が劣っていることは承知している。しかし、市全体でのバスの運行台数、地域間のバランス、収支採算性などから、市内の一部路線にのみ快速便を設けることは、現状では極めて厳しいと考えている。



再編が議論されているつつじバス



公明党
遠藤 えんどう
隆 たかし
議員

新型コロナウイルスの影響を受ける文化芸術フリーランスに対する支援について

問 具体的な支援策は。

答 令和3年度の資金面での支援は、国においては、文化団体、文化施設向けにはあるが、個人事業主向けには現在のところない。

一方、県・市においては、対象となりうる補助金制度があるので、まずはこれらを紹介しつつ、さらなる支援を検討したい。また、発表の機会の提供が最も重要と考え、文化センターや、まなべの館での企画により間接的に支援していく。

公演中止と「表現の自由」の考えについて

答 文化センターで予定されていた公演の中止を求めたことは、市民の安全安心を守るために必要な措置だったと考えている。

損失補償については協議中であるが、財政的リスクを回避するために、文化センターにおけるコロナ対策実施基準を作成した。これは、国・県の警戒レベルに応じた利用制限を行うものである。

問 今後、ネット配信の考えは。

答 議員提案の無観客ライブ配信については、文化センターにライブ配信設備も整っているので、今後運用を図っていく。



市民創世会
木村 きむら
愛子 あいこ
議員

商工観光について

問 新幹線開業後、ものづくり産業を観光資源として、朝倉氏遺跡から河和田への誘客を通年型で考えていただきたい。

また、今後、国道417号線の^{すいどう}隧道化で中京圏からの観光客が多くなると思うが、道の駅や観光協会の役割の拡充が必要ではないか。

「お椀でご飯運動」を再度提案。所見を。

答 福井駅を起点とした、朝倉氏遺跡からうるしの里会館やめがねミュージアムを巡るおもてなし観光タクシーのルートを設定しているほか、観光施設を周遊するイベント等、広域観光の推進に取り組む。

次に、河和田地区の産地活性化については、体験型マーケット「RENEW」の通年型開催等、地域資源を生かしたにぎわい創出を

ブラッシュアップできるよう継続して支援したい。

道の駅西山公園の観光協会は、鯖江ブランドコーナーの一部を構成していて、よりきめ細やかな対面での情報発信に取り組んでいるが、西山公園は市内最大の観光施設、そこに事務所を構えるという意義は大きい。観光協会や道の駅指定管理者、都市計画課と魅力向上の協議を進めていきたい。

日本漆器協同組合連合会が、本年度「お椀でご飯」を推進すると聞いている。越前漆器協同組合と協力し、SDGsの取組にも合致する点等をPRし、市民、事業所の皆様に「お椀でご飯」実践を呼びかけていく。



木の漆椀での料理